

平成25年度 府中市事務事業点検 点検結果

(単位 千円)

事業番号	事業名	担当課	点検結果	評価作業シートのコメント
1-10	市民相談事業	広報課	市(要改善)	<p>○正規職員の相談業務の整理が必要である。相談員の謝礼金の必要性をゼロから見直すべきである。再任用職員の活用を検討すべきである。</p> <p>○謝礼金について、弁護士を除いて極力「0円」で行うことを考える。他市の状況などよく調査していただきたい。</p> <p>○行政相談員、人権擁護委員は本来業務により相談事業に対しては無報酬と考えられるのではないか。</p> <p>○相談窓口は来庁後の対応だけだが、一人暮らし高齢者への訪問相談が検討されるべきである。役所の機能分割であれば、横串をさす働きを考えるべきであり、合理化にも繋がると思われる。</p> <p>○それぞれの専門家は相談を業務としているので、一定の謝礼は必要と考えるが、その根拠については、交通費程度でも成立すると思うので、改善して欲しい。</p> <p>○相談員への報酬が他市と比較してかなり高めである。全市民に対して利用者が3%程度あり、一部の市民のために多くの税金が使われていることに疑問を感じる。</p>
1-11	職員研修事務	職員課	市(要改善)	<p>○新たな課題に取り組む職員という大きな目的に対して、今のカリキュラムを変えるべきである。危機意識のないことが今の大きな課題である。</p> <p>○目標を高く掲げているならば、それに見合った内容にすべきである。この旧態依然としている内容では、接遇くらいしか効果がない。人材育成の担当をしっかりと増やして再構築を行うべきである。</p> <p>○研修の目的を個々に明確にすべきであり、テーマによっては成果(効率化等)を明確にすべきである。</p> <p>○市職員の意識改革を進めるための教育カリキュラムを作成すべきである。</p> <p>○職員研修を受講したのち、その職員がどのように効果を得られたのかのフォローアップがない。1千万円の価値を活かして欲しい。</p> <p>○研修の目標は非常に高らかだが、やっている研修は旧態依然としている印象を受ける。成果指標が市民の満足度だけでは、個々の研修の成果が全く見えてこない。個々の研修について個別に成果を設定することで、研修の目的を明確化していくことが必要ではないかと考える。</p> <p>○研修の最終的な効果は、市民がどう思うか。その意味では、市民の中に入って行き、市民と一緒に研修を行うことや、市民を講師として研修を行うなど、そういう視点も必要ではないかと考える。</p> <p>○研修担当を増やしても、研修内容の見直しを図るべきである</p>
1-12	地域体育館スポーツ活動運営事業	生涯学習スポーツ課	抜本的見直し	<p>○地域体育館の数については、見直す必要がある。</p> <p>○スポーツ教室の利用については、使用料だけではなく講習費として謝金や消耗品費を徴収すべきである。施設利用料も維持経費等と比較すると安すぎる。プールの運営と合わせて年間1億円の一般財源を充てることでの事業継続は再考すべきである。</p> <p>○コストの問題はもっと考えなければならない。早急な施設の統廃合の見直しが必要である。また、施設の統廃合と合わせて、受益者負担を求めていくべきである。</p> <p>○他市と比べて体育館の数が多い府中市では、このままこの事業を続けることで、施設の維持管理と併せて毎年1億円の赤字を出し続けるという実態は再検討を要すると思う。</p>
1-13	文化財保護振興事業	ふるさと文化財課	市(要改善)	<p>○広報物の簡素化、審議会報酬規程の見直しが必要である。</p> <p>○審議会の体制の見直しが必要である。市内文化財・施設維持管理は文化財ボランティアを組織し、市民協働により進めていくべきである。</p> <p>○事業を関係部門全体で横串でさすべきである。</p> <p>○事業の全体像が見えにくい。観光との連携も必要である。</p> <p>○文化財の学術的な取扱いなど、一括して郷土の森に集約しても良いのではないかと考える。</p> <p>○保存と活用が混在している。今後のあり方の検討が必要である。</p>

事業番号	事業名	担当課	点検結果	評価作業シートのコメント
1-14	青少年健全育成事業	児童青少年課	市(要改善)	<p>○事業の目的を非行・犯罪防止に特化すべきである。</p> <p>○地域の青少対の活動が活発であるならばこそ、行政は冷静にどのくらい効率化するのか分析すべきである。</p> <p>○行政が行うことと青少対が行うことを明確にする必要がある。同様に委託と補助を明確にする必要がある。</p> <p>○不健全な自販機の減少は当該事業の取組みによる効果と捉えるのではなく、売上げがないために撤去になったのではないかと考えられる。</p> <p>○親子の絆が最重要であり、そのための具体的活動を重視すべきである。他市は委託として行っていないが、何政府中では委託を行う必要があるのか？</p> <p>○子供緊急避難の家も含まれていることで、対象年齢の中に0～5歳も入っているという理由はやむを得ないところであるが、活動そのものは小中高の年齢層だと思う。スポーツイベントよりもっと青少年の心の問題に重点をおいた事業に方向を転換して頂きたい。</p> <p>○青少対事業の参加者の実人数の把握が必要である。</p>
1-15	市街地整備計画作成事業	計画課	市(現行通り)	<p>○事業の概要ではなく、具体的な話をしていただきたい。この事業は計画的に行う必要があると思うが、改善をすべく工夫が必要だと思う。また、職員の人件費が高く、コンサルの多用が目立つ。もっと内容を詳らかにしないといけない。</p> <p>○資料があったが内容が見えてこない。もっと広報活動を頑張ってもらいたい。</p> <p>○計画的に市民に理解してもらうことは難しいが、市民に密接な整備計画も含まれていることを市民に伝えるべきである。</p> <p>○委託の内容について縮減ではないが、見直しを絶えず図る必要がある。特に専門的な事項は、市民にわかりやすく伝える工夫が必要である。</p> <p>○コンサルタントへの依存度を抑制すべきではないか。トータル費用の抑制が必要である。</p> <p>○市民へのフィードバックは単純にしてもらいたい。また、コンサルへの委託については、業者でいう「ブラック」と言われるくらいの発注内容なので、むしろ拡充すべきだと思う。</p>
1-16	市民住宅運営事業	住宅勤労課	抜本的見直し	<p>○平成29年度までの契約は守らざるを得ないので、その間にいかにして空き家を減らしていくのかを考えるべきである。平成9年から事業継続のために一般財源を充てていることの重さを認識すべきである。</p> <p>○契約期限(20年後)に事業をやめることになっていくと考えると、入居について、工夫は非常に難しいとは思いますが、抜本的に見直す必要がある。今後は住宅政策を構築する場合に、入居が満たない場合について良く考えたほうが良い。</p> <p>○20年間一括契約はずさんだと思う。負担の減少策を考えるべきである。</p> <p>○市民住宅の存在そのものを点検委員にならなければ知らなかった。10戸も空き家があるのなら、広報活動をして市民に知らせるべき努力をしていただきたい。契約では抜本的見直しが必須である。</p>
1-17	境界確定事業	管理課	市(要改善)	<p>○未確定道路のボリュームは少ないと思われるが、あと何年でどれだけ予算が必要なのか全体像の把握とスケジュール化が必要である</p> <p>○境界画定は重要な事業である。目的にある「長期の無断使用によるしの所有権侵害」をクリアする義務がある。</p> <p>○消極的なイメージがあるが、積極的な行動を要するのではないかと考える。</p> <p>○事業の目的、達成をどこに置くかも決めていない印象を受けた。今後どうしていきたいかが見えない。</p> <p>○市の財産を守り、公平性を維持するためにも、力を入れるべき重要な事業だと思う。人員不足ではないかと思う。</p>

事業番号	事業名	担当課	点検結果	評価作業シートのコメント
1-18	補助金 観光事業費	経済観光課	市(要改善)	<p>○自主財源を確保したいと言うが、観光物産館の運営状況では順調とは言い切れない部分もある。民営化しないのか。市の発想は、観光協会を存続させることを目的とするように見える。</p> <p>○例大祭には数十万人の人が来るのであれば、このイベントを活用することで自立できるのではないかと考えられる。</p> <p>○都市部の観光の難しさは認識している。浅草などは、宣伝を積極的に行わなくても観光客は来るとされる。まずは、府中市民が府中市のことをどれだけわかっているのか。競馬場や大手企業を使っのPRが必要であり、文化財との連携や飲食の情報が乏しい。市が実施すると限界はあるが、観光協会という民間に補助しているのであれば、もっと発想を豊かにしてもらいたい。</p> <p>○この事業に関わらず、抜本的に見直す意識をもってもらいたい。八王子市の道の駅のように民間が行うことで、たくさん人が集まることできる。</p> <p>○NPO法人にとっては、儲けることに抵抗感があるのかもしれない。歴史施設を活用し、他市からの観光客を集めてもらいたい。</p> <p>○補助と委託の内容を精査し、効率的な整理と工夫を抜本的に行う必要がある。早急に対応すべきと考える。検討するだけでは遅すぎる。作業的な事業ばかりになっている。</p> <p>○観光協会を通すことだけを考えるやり方は抜本的に変えるべき。前回の仕分け以降の見直しが見られない。</p> <p>○東京都指定の文化財の多い府中市であるが、そういった認知度が低いと思われる。目標(観光客350万人)に到達する手段が見えない。</p>
1-19	リサイクル推進事業(リサイクル用品活用事業)	ごみ減量推進課	抜本的見直し	<p>○商業ベースでは、明らかに自立できる環境にあると判断できる。</p> <p>○リサイクルの意義が市民に根付いたら、民間企業に任せる方向とするよう再検討が必要である。時期が来たら独立法人に任せるものと思う。</p> <p>○リサイクルショップの運営は新たな事業者を公募するなど、目的を正面に捉えた対応が必要である。ただし、協会の役割を否定するものではなく、NPO事業は継続していただきたい。</p> <p>○ショップの運営は、民間事業者に移行すべきである。</p> <p>○市民協働の要素は十分に理解できるが、市場が出来上がっている世界であるがゆえに、もう一段の説得が必要である。</p> <p>○市の財政状況が厳しい中で、あれだけの良い場所にテナント代を払わず入れるという点も含めて、見直しが必要である。</p> <p>○民間であれば、300万円のPOSレジを入れたり、テナント代を支払った場合は、赤字になるはずである、民間企業では、経営努力をするはずである。協会は、リサイクルショップの経営部分ではなく、他の部分を担う役割があると思う。</p> <p>○リサイクルはインターネットでの流通という経路もできており、リサイクルショップについても市内の中だけ考えるのではなく、近隣市の状況も含めて考えるべきだと思う。独占的にNPO団体が運営を行う必要はない。</p>